



# 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社  
コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp>

上場取引所 大 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江里口俊文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 渡邊和雄

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

平成24年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	3,647	6.2	43	—	10	—	9	—
23年12月期第2四半期	3,436	△8.7	△63	—	△110	—	△102	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 7百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	0.94	—
23年12月期第2四半期	△10.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第2四半期	21,478	10,061	46.8	984.67
23年12月期	21,668	10,094	46.6	987.93

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 10,061百万円 23年12月期 10,094百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	2.00	—	4.00	6.00
24年12月期	—	2.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	6.4	290	70.3	200	115.7	120	109.7	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	10,346,683 株	23年12月期	10,346,683 株
24年12月期2Q	128,969 株	23年12月期	128,892 株
24年12月期2Q	10,217,732 株	23年12月期2Q	10,217,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書の四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、昨年発生した東日本大震災の影響が解消し、国内外の顧客消費動向は持ち直してきており、九州の遊園地におきましては、繁忙期である春休みやゴールデンウィーク期間の集客が順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,647,859千円（前年同期比6.2%増）となり、営業利益は43,928千円（前年同期は営業損失63,427千円）、経常利益は10,903千円（前年同期は経常損失110,568千円）、四半期純利益は9,556千円（前年同期は四半期純損失102,273千円）となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	3,647,859	3,436,609	211,249	6.2
営業利益（△損失）	43,928	△63,427	107,355	—
経常利益（△損失）	10,903	△110,568	121,471	—
四半期純利益（△損失）	9,556	△102,273	111,829	—

次に、報告セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① 遊園地事業

九州の『グリーンランド』におきましては、集客効果ならびに収益性の向上を目的とし、春のイベントの開始期日を例年より1週間早め、平成24年3月3日より開催いたしました。開催期間を前後半に分け、「レジェンドバトルステージ」と題するアクションショーを実施いたしました。前半の3月3日から4月20日にかけての49日間は海賊戦隊ゴーカイジャーを、後半の4月21日から6月3日にかけての44日間および6月9日から7月1日にかけての土・日8日間は仮面ライダーフォーゼをメインキャラクターとし、当遊園地ならではの迫力のパフォーマンスで、喝采を博しました。また、3月3日から5月6日にかけての65日間は、「モンスターハンターワールドG in グリーンランド」と題し、幅広い世代に人気のあるゲームソフト「モンスターハンター3（トライ）G」をテーマにした体験型アトラクションを開催いたしました。さらに、5月20日には、人気絶頂のお笑い芸人を起用した「スギちゃんお笑いライブ」を開催しました。加えて、新規アトラクション「カード迷路『ぐるり森大冒険』」をはじめ、期間限定アトラクション「キッズアクア」や「フィッシュセラピー」をオープンし、集客に努めました。その結果、2月ならびに6月は降雨により落ち込みましたものの、春休みやゴールデンウィーク期間は順調に集客し、利用者数は、前年同期比27,667人増加の392,848人となり、売上高は前年同期比203,904千円増収（+13.5%）の1,713,127千円となりました。

『北海道グリーンランドホワイトパーク（スキー場）』におきましては、記録的な豪雪となった影響で、利用者数が減少いたしました。また、『北海道グリーンランド遊園地』におきましては、「国立ポリショイサーカス」の開催や、人気キャラクターを起用した「3大ヒーロー&ヒロイン大集合」を開催し、ファミリー層の集客を図りました。さらに、数々のカーイベントを開催し、集客に努めました結果、ゴールデンウィーク期間中は悪天候による影響がありましたものの、その他の期間でカバーし、遊園地の入場者数は増加いたしました。以上、北海道の遊園地事業におきまして、スキー場と合わせた利用者数は前年同期比499人減少の96,958人となりましたものの、客単価の増加により、売上高は前年同期比7,098千円増収（+2.8%）の264,328千円となりました。なお、いわみざわ公園管理につきましては、平成25年に岩見沢市で開催される「ばら制定都市会議（ばらサミット）」に向けた、バラ園の整備・改善に力を入れ、その他の施設におきましても、より一層の魅力ある施設作りに取り組みました。

その他に、『モビリティおおむた』におきましては、ブログの開設をはじめとするホームページでの情報発信を強化するとともに、走行会やイベント等の誘致に向けた営業活動に努めてまいりました結果、自動車メーカー主催のイベントが増加したこと等により、売上高は前年同期比2,231千円増収（+13.5%）の18,801千円となりました。

以上の結果、遊園地事業につきましては、利用者数は前年同期比27,168人増加の489,806人となり、売上高は前年同期比213,235千円増収（+12.0%）の1,996,257千円となり、営業利益は前年同期比78,168千円（+91.7%）増益の163,392千円となりました。

## ② ゴルフ事業

ゴルフ事業におきましては、6月26日に、韓国の昌原（チャンウォン）市にある昌原カントリークラブと、韓国のゴルフ場では4つ目となる相互施設利用契約を締結し、韓国における当社3ゴルフ場の知名度や付加価値の向上及び、メンバーズゴルフ場会員権の価値向上に努めました。

『グリーンランドリゾートゴルフコース』におきましては、多彩なイベントを開催するとともに、ロッカールームのリニューアルや、オレンジレストランの改修等、施設面の拡充を図りました。

『大牟田ゴルフ場』におきましては、コンペ誘致や様々なイベントの開催による集客に加え、クラブハウスの照明ならびに空調設備を省エネ機器に入れ替え、お客様に快適な空間を提供するとともに、経費の削減に取り組んでまいりました。

『広川ゴルフ場』におきましては、月曜セルフデーの開催や、お土産付きイベントの開催等による集客策を講じました。

その結果、様々なイベントの開催効果や、施設の拡充に取り組み、当社ゴルフ場ならではの付加価値を高めたことにより、集客が堅調に推移し、ゴルフ事業につきましては、利用者数は前年同期比3,514人増加の69,903人、売上高は前年同期比21,500千円増収（+4.4%）の509,164千円となり、さらなる経費削減に努めた結果、営業損失は前年同期比27,260千円損失減の8,419千円となりました。

## ③ ホテル事業

『ホテルブランカ』におきましては、宿泊予約サイト及び自社ホームページからの予約を強化してまいりました。また、ビジネスプランやカップルプラン、さらには卒業旅行プラン等を積極的に売り込みました。中庭バーベキューにおきましては、目玉メニューの「赤鶏の手羽先唐揚げ」をはじめ、定着しております飲料のセルフサービス方式の営業形態を継続し、多くのお客様にご利用いただきました。以上の取り組みの結果、宴会部門は伸び悩みましたものの、宿泊及び料飲部門が好調に推移し、全体の売上高は増加いたしました。

『ホテルヴェルデ』におきましては、大手宿泊予約サイトや自社ホームページでの客室販売に加え、新たに、フラッシュマーケティングサイトの「グルーボン」や「ボンパレ」による客室販売に取り組みました。なお、「卒業旅行プラン」につきましては、バスツアーをはじめとする販売拡充に力を入れました結果、過去最高の宿泊者数となりました。また、外国人の富裕層をメインターゲットとした「健康診断プラン」や「プラスワンデイプラン」を新たに造成いたしました。レストランにおきましては、「300gメガステーキ」等の目玉メニューの販売や、様々なイベントの開催に力を入れ、集客に努めました。婚礼におきましては、回毎にテーマを持たせたイベント仕立てのウェディングフェアの開催をはじめ、披露宴実績のあるお客様の口コミ等の情報収集や、紹介制度のご案内等に取り組んでまいりました。一般宴会におきましては、「海の幸祭り」等の様々なイベントの開催による集客を図ってまいりました。以上の取り組みの結果、宿泊及び料飲部門は伸び悩みましたものの、婚礼や一般宴会の増加により、宴会部門の売上高が大幅に伸びました。

『ホテルサンプラザ』ならびに『北村温泉ホテル』におきましては、地域密着型の営業展開を心がけ、特色あるイベントの開催や商品販売に努め、地元のお客様を中心に、より一層楽しんでいただける施設作りに取り組んでまいりました。

『ホテルサンプラザ』におきましては、カニバイキングやステーキ食べ放題等のイベントを開催し、集客に努めてまいりました。また、婚礼におきましては、ブライダル相談会の開催及びブログによるきめ細かい情報の発信に取り組んでまいりました。

『北村温泉ホテル』におきましては、日帰り温泉入浴と食事をセットにしたプランの販売や、ハワイアンフェスティバル等のイベントを開催し、集客を図ってまいりました。

以上の結果、ホテル事業につきましては、『ホテルサンプラザ』の宿泊者数が好調に推移したことにより、全体の宿泊者数は前年同期比1,721人増加の43,273人、売上高は前年同期比55,680千円増収（+6.4%）の923,380千円となり、営業損失は前年同期比19,957千円損失減の29,007千円となりました。

## ④ 不動産事業

不動産事業におきましては、昨年9月にオープンいたしましたナフコ荒尾東店の土地賃貸料が加わり、売上高は前年同期比8,287千円増収（+11.1%）の82,693千円となり、営業利益は前年同期比6,595千円（+14.2%）増益の52,959千円となりました。

## ⑤ 土木・建設資材事業

土木・建設資材事業におきましては、受注工事が当第2四半期連結累計期間から時期がずれたこと等により、売上高は前年同期比88,659千円減収（△43.1%）の117,253千円となり、営業利益は前年同期比30,557千円（△88.3%）減益の4,039千円となりました。

⑥ その他の事業

ギフト商品販売業及び保険代理店業につきまして、売上高は前年同期と同水準となりましたものの、労働者派遣事業につきましては、着実な実績を積み上げました結果、全体の売上高は前年同期比1,205千円増収(+6.7%)の19,109千円となり、営業利益は前年同期比2,002千円(+63.5%)増益の5,158千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、21,478,034千円(前連結会計年度末比190,043千円減少)となりました。

① 流動資産

流動資産は、969,936千円(前連結会計年度末比131,229千円減少)となりました。主な要因は売掛金で123,639千円減少したことによるものであります。

② 固定資産

固定資産は、20,508,098千円(前連結会計年度末比58,814千円減少)となりました。主な要因は有形固定資産の減価償却等で62,128千円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

流動負債は、4,240,082千円(前連結会計年度末比119,111千円増加)となりました。主な要因は短期借入金で134,148千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

固定負債は、7,176,864千円(前連結会計年度末比275,761千円減少)となりました。主な要因は長期預り金で85,700千円、長期借入金で186,545千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

純資産は、10,061,087千円(前連結会計年度末比33,393千円減少)となりました。主な要因は利益剰余金で31,314千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年2月14日の「平成23年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	290,687	245,005
受取手形及び売掛金	291,926	172,944
有価証券	999	—
商品及び製品	30,401	43,817
原材料及び貯蔵品	45,160	46,190
販売用不動産	347,537	347,537
繰延税金資産	15,220	17,261
その他	98,711	118,687
貸倒引当金	△19,480	△21,508
流動資産合計	1,101,165	969,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,884,656	4,763,079
機械装置及び運搬具（純額）	307,957	300,513
土地	14,432,411	14,432,632
その他（純額）	87,820	154,491
有形固定資産合計	19,712,845	19,650,717
無形固定資産		
その他	238,515	238,069
無形固定資産合計	238,515	238,069
投資その他の資産		
投資有価証券	185,502	182,374
繰延税金資産	333,453	333,371
その他	97,874	104,844
貸倒引当金	△1,279	△1,279
投資その他の資産合計	615,551	619,312
固定資産合計	20,566,913	20,508,098
資産合計	21,668,078	21,478,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,972	52,074
営業未払金	91,727	83,385
短期借入金	3,564,996	3,699,144
未払金	226,826	211,816
未払法人税等	28,091	42,495
その他	130,356	151,166
流動負債合計	4,120,971	4,240,082
固定負債		
長期借入金	3,529,920	3,343,375
長期預り金	3,739,311	3,653,611
退職給付引当金	34,160	18,438
役員退職慰労引当金	42,538	42,538
その他	106,694	118,900
固定負債合計	7,452,626	7,176,864
負債合計	11,573,597	11,416,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,208,411	1,177,096
自己株式	△42,176	△42,196
株主資本合計	10,114,171	10,082,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,690	△21,748
その他の包括利益累計額合計	△19,690	△21,748
純資産合計	10,094,480	10,061,087
負債純資産合計	21,668,078	21,478,034



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,436,609	3,647,859
売上原価	3,207,158	3,315,606
売上総利益	229,451	332,252
販売費及び一般管理費	292,878	288,324
営業利益又は営業損失(△)	△63,427	43,928
営業外収益		
受取利息	165	109
受取配当金	2,311	2,414
受取賃貸料	2,691	2,648
助成金収入	5,600	4,402
雑収入	2,340	7,623
営業外収益合計	13,108	17,197
営業外費用		
支払利息	54,628	48,658
雑損失	5,620	1,564
営業外費用合計	60,249	50,222
経常利益又は経常損失(△)	△110,568	10,903
特別利益		
固定資産売却益	2,652	2,158
貸倒引当金戻入額	234	—
受取保険金	—	37,824
収用補償金	—	3,882
特別利益合計	2,886	43,865
特別損失		
固定資産除売却損	1,505	844
災害による損失	—	13,511
特別損失合計	1,505	14,356
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,186	40,412
法人税、住民税及び事業税	21,508	31,744
法人税等調整額	△28,421	△888
法人税等合計	△6,913	30,856
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,273	9,556
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,273	9,556

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△102,273	9,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,059	△2,057
その他の包括利益合計	6,059	△2,057
四半期包括利益	△96,214	7,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,214	7,498
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,186	40,412
減価償却費	221,935	218,859
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,267	△15,721
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,609	2,028
受取利息及び受取配当金	△2,476	△2,523
支払利息	54,628	48,658
受取保険金	—	△37,824
固定資産除売却損益(△は益)	△1,147	△1,314
売上債権の増減額(△は増加)	57,705	108,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,747	△14,446
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,558	△35,240
未払金の増減額(△は減少)	△51,844	△11,655
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,458	△4,236
その他	△7,071	22,807
小計	96,396	317,868
利息及び配当金の受取額	2,476	2,523
利息の支払額	△57,313	△47,902
保険金の受取額	—	31,998
法人税等の支払額	△55,285	△17,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,725	287,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△2,800
定期預金の払戻による収入	—	4,800
有価証券の取得による支出	△999	—
有価証券の売却による収入	998	999
有形固定資産の取得による支出	△48,472	△156,558
有形固定資産の売却による収入	2,706	2,228
その他	1,656	1,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,110	△149,561
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△68,000	88,000
長期借入れによる収入	1,000,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△804,387	△690,397
長期預り金の受入による収入	—	5,400
長期預り金の返還による支出	△106,200	△91,100
自己株式の取得による支出	—	△20
配当金の支払額	△40,499	△40,594
その他	△2,259	△2,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,346	△181,165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△82,181	△43,681
現金及び現金同等物の期首残高	310,504	284,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	228,323	241,305

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,783,022	487,663	867,699	74,406	205,913	17,904	3,436,609	－	3,436,609
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,805	10,392	33,887	10,270	2,151	38,049	96,557	△96,557	－
計	1,784,828	498,055	901,587	84,676	208,065	55,954	3,533,166	△96,557	3,436,609
セグメント利益又は損失(△)	85,223	△35,680	△48,965	46,363	34,597	3,155	84,695	△148,122	△63,427

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,996,257	509,164	923,380	82,693	117,253	19,109	3,647,859	－	3,647,859
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,858	10,503	35,759	9,414	5,153	42,648	105,338	△105,338	－
計	1,998,116	519,667	959,140	92,107	122,407	61,758	3,753,197	△105,338	3,647,859
セグメント利益又は損失(△)	163,392	△8,419	△29,007	52,959	4,039	5,158	188,122	△144,194	43,928

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。